

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 揖斐高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月28日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 揖斐高等学校 校長室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 長沼健治郎 | 本校同窓会会長 |
| 副会長 | 東 三紀 | 本校PTA会長 |
| 委員 | 新川利都子 | 本校PTA副会長 |
| | 服部 均 | 揖斐川町商工会会長 |
| | 野村 茂雄 | J Aいび川代表理事専務 |
| | 保井 円 | 大和神社宮司 |
| | 高木 智明 | 元揖斐郡小中校長会長 |
| | 鈴木留理子 | 西濃厚生病院看護師 |
| | 高橋 真紀 | 揖斐川町住民福祉部健康福祉課課長補佐 |
-
- | | | |
|-----|-------|--------|
| 学校側 | 種田 昭彦 | 校長 |
| | 豊吉 利之 | 教頭 |
| | 河田 禎彦 | 事務長 |
| | 増田 恵子 | 教務主任 |
| | 宮田 沙織 | 生徒指導主事 |
| | 安野 幸成 | 進路指導主事 |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 自己評価・学校関係者評価について
・自己評価について説明する。

意見1: スマートフォンの預かり指導に対する生徒や保護者の反応はどうか。

⇒毎年、合格者説明会時にスマートフォンの預かり指導の目的などについて、生徒及び保護者に対して丁寧に説明を行っている。保護者からは肯定的に捉えていただいている。また生徒も学校生活の習慣として定着しておりクレームはない。

意見2: 「演劇ワークショップ」で学んだ自己表現力やプレゼンテーション力は、社会に出ても必要な能力である。このような能力をどのように身に付けさせているか。

⇒「課題研究」などの科目において各コース・系列で協働学習を積極的に行い、学びの集大成となる学習成果発表会で披露することが表現力等の育成につながっている。

意見3: 学習成果発表会を参観したが、デュアル系列では生徒全員がコミュニケーションの大切さを学んだと発表していた。実習先の企業で異年齢の人と言語・非言語のコミュニケーションを経験したからこそ感じ取ることができたのではないかと。

意見4：学習成果発表会を見て大変感動した。毎年発表のレベルが上がっている。今後、揖斐郡内の中学校の進路指導主事や中学3年生に発表を見てもらうことを検討してはどうか。

意見5：保護者としての意見となるが、子どもが晩ご飯を家族のために作ってくれるようになるなど、高校に入学してから優しさが育っている。本日の授業参観では、本校の教職員が生徒に声をかけている場面が多く見られ、温かく見守ってくれていると感じた。

意見6：COREハイスクール事業での「中学生・高校生海外派遣」が、参加した生徒にとってホストファミリーとの交流や異文化理解などにより充実した研修となっていることが感じられる。次年度も継続して参加してほしい。

(2) スクールミッションの策定について

・県教育委員会と協議を踏まえたスクールミッション（案）を説明する。

意見7：修正案では「連携型中高一貫教育」という文言が入り、本校の位置づけが明確になっている。

意見8：学校案の「ふるさと揖斐」が文言から削除されたのは残念であるが、県が全ての高等学校の表現を見て調整したものなのでやむを得ない。

意見9：スクールミッションを全教職員に共有してほしい。

⇒次年度当初の職員会議等を通じて、本校の全教職員に伝え共有する。

6 会議のまとめ

(1) 自己評価の成果と課題について、委員からの様々な視点による意見を参考に学校経営に反映させていくことを確認した。

(2) スクールミッションは、修正案のとおり承認された。